

私の堆肥生産法

三重県一志郡白山町 菜遊ファーム 堆肥育土研究所
三重県一志郡白山町川口6583-1 TEL・FAX059-262-4636
橋本力男

今回は有機農業を経営し、自らたい肥づくりの研究と販売をしている、橋本力男さん(菜遊ファーム、堆肥、育土研究所)を訪問した。(事務局)

1 地域の概況

三重県白山町は、県の中央部に位置し、県庁所在地の津市や牛肉で有名な松阪市から車で30分程の距離である。周囲を山に囲まれ、町の中央を流れる雲出川の両側に集落が開けた農山村地帯、京阪神や名古屋の中間にあたり、名所旧跡、リゾートやゴルフ場(町内に7カ所)があり、近年利用者が増えてきている。一方、農業は離農、兼業化が進み、農家戸数は減少している。現在、稲作が主体で、畜産は肉牛農家2戸270頭が飼われているだけである。

2 橋本さんのたい肥づくり

①経営の概要

橋本さん(49歳)、奥さん、三人の娘さんの5人家族で、畑50a、水田5aを耕し、主な収入は有機野菜販売(菜遊ファームという5人での生産グループをつくり松阪市、一志郡内、名古屋市の54戸の消費者へ配達や宅配)、野菜苗の育苗販売(スイカ、キュウリ、トマト等7000本/年)、たい肥生産販売、年間30回以上のたい肥づくり講師依頼等である。

また、研修生の受け入れ(現在1名)、見学者(会社や家庭の主婦)の1200名/年対応に多忙を極めている。



写真1 橋本さん(後ろは、たい肥原料)

②たい肥づくりの考え方

橋本さんは、隣の美杉村に生まれ、東京農業大学在学中、韓国やインドで農業を体験。日本にない食についての基本を感じとって帰国した。昭和52年に現在地を求め、土づくりを基本に有機農業を始め、現在ようやく考え方を理解してくれる人達が出てきたと張りきっている。

野菜づくりを手がけ「野菜」「土」「肥料」を追及する中から土づくりのためのたい肥づくりに25年間を費やしてきた。

たい肥の材料はN.P.Kのバランスをとり、繊維質を基本にタンパク質を取り入れ、光、水、空気等自然を活用し十分熟成させるという。土もたい肥も生き物で、人間の食べ物と同じくバランスよく配合することが基本であるという。

土づくりに対する橋本さんの話の随所に“ごはんとおかず”“たべすぎたらあかん”という言葉が出てくる。

また、橋本さんは「家畜ふん尿処理やリサイクル技術の開発は盛んであるが、堆肥の利用に関して、施肥基準、特定の働きをもった機能性堆肥の研究開発が必要である」と熱く語ってくれた。

③たい肥作りの方法

たい肥

橋本さんは、野菜の苗作りをすることから、最上級のたい肥を必要とし、材料の配分、水分の調整、保温、保湿、切り返し、期間等の作業に最善を尽くしている。特に温・湿度管理のために通気性のある古いジュウタンで覆う等の細かい配慮は、まさに生き物の管理方法と同じで、松阪牛の肥育管理に相通ずるものを感じた。

苗床用に使用するモミガラ堆肥材料の基本配合比は、もみガラ55%、コメヌカ18%、鶏糞18%、土9%で水分は60%程

度にし、均等になるよう混合、古じゅうたんで覆う。

切り返しは10日後、1カ月後、1～2カ月後に行い、温度が低下したら、全体の5～7%のコメヌカを加え再度発酵させ、2～3回切り返す。8カ月～1年位で出来あがり。

土ボカシ

材料比は±50%、コメヌカ16%、オカラ16%、モミガラ16%、鶏糞、落葉を少々とし、作業はたい肥づくりと同様でよい。ミネラル資材として草木灰、炭、岩石粉、粘土等を入れるとよい。



写真2 たい肥舎(それぞれ古カーペットで覆われている)

3 生ごみたい肥について

橋本さんは上記たい肥の他に、一般家庭や学校から出た生ゴミ、オカラ、鶏糞、ビール粕、剪定枝、粘土(有料)を無料で受け取り前記の方法でたい肥をつくり、平成12年には250万円の収入を得ている(単価20リットル/25～30円)。

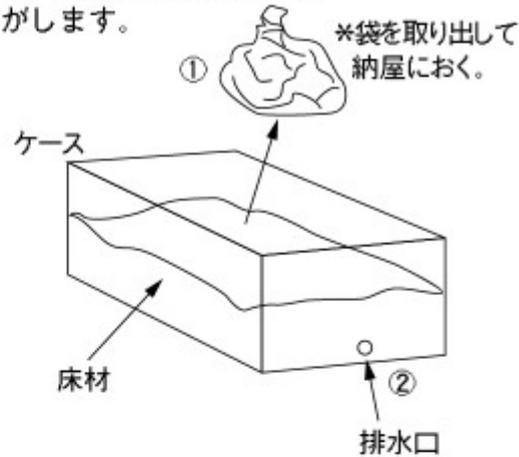
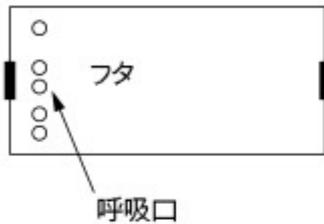
一方、橋本さんの考案の衣装ケースを使った、生ゴミ処理は、家庭での生ゴミ減量、省資源化につながり、作物栽培にも役立つため、家庭でたい肥を作ろうと張り切る人が増えてきた。各地での生ゴミたい肥づくり講座の講師に依頼され多忙な日々を送っている。

衣装ケースの使い方

以下の説明を読んで参考にしてください。

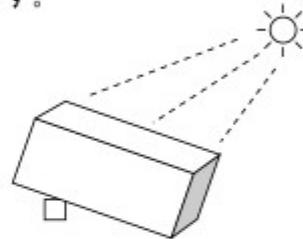
使い方

- ①フタをあけて、中の床材がはいっている袋を取り出します。
- ②ケースの排水口にあるテープをはがします。



置き方

- ①ケースを置く場所——日当たりの良いところ（雨にあたっても良い）に置いてください。冬は特に太陽の光が必要です。
- ②呼吸口と排水口が反対になるように、フタを閉めます。
- ③雨がフタから入らないように、ケースは斜めに置きます。
- ④大雨のときは呼吸口に木の板かレンガを置いてください。



入れ方・管理のしかた

- ①ケースの中をいつも乾燥気味に管理すれば悪臭もハエも近寄りません。
 - ②日に三角コーナー、一杯ぐらいを朝よく水切りをしていれます。
 - ③生ゴミを表面に入れましたら、ステンレスのシャベルで床材とまぶすように軽く混ぜます。
 - ④悪臭がしたり湿気が増えてきたら、床材をたして発酵を促します。
 - ⑤悪臭が出ましたら、乾燥した落ち葉を入れますと良くなります。
 - ⑥一杯になりましたら2次処理に移ります。
- **決して水を加えたり底からかき混ぜないで下さい。生ゴミが腐ることがあります。

床材の作り方

配合割合（容積比）
モミガラ
コメヌカ
粘りある土
落ち葉（広葉樹針葉樹種類が多いことが大切土着菌）
上記を混合して、ケースに半分入れて残りは保管する。

※詳細は小冊子（500円）があり販売しています。

図1 衣装ケースの使用パンフレット